

ふくおかのふくし

Welfare of Fukuoka



第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会 開会式の様子(関連記事4頁)

ふくおかのふくし 187号 発行所/福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県総合福祉センター(ウオーパープラザ)内 社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会
TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日/2022年(令和4年)12月16日 編集発行/酒見俊夫 印刷所/株式会社インテックプラス福岡

今号の内容

- P 1 農福連携の取組について
- P 4 ふくふくNEWS
第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会
- P 5 令和4年福岡県社会福祉大会を開催しました
- P 7 赤い羽根共同募金
- P 9 ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金
この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

令和4年度 **新型コロナウイルスを含む特定感染症に対し、新たなオプションが追加されました**

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設総合損害補償 しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用) 保険期間1年

▶保険金額	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の各種費用	事故対応特別費用(期間中) 500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき) 1事故10万円限度	1事故10万円限度
		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 施設の医療事故補償
 - 医務室の医療事故補償
 - 看護職の賠償責任補償
- オプション3 ● 施設の借用不動産賠償事故補償
- オプション4 ● クレーム対応サポート補償

NEW

- オプション5 ● 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
 - オプション：使用者賠償責任補償
- ② 役職員の傷害事故補償
- ③ 役職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社)
 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ21-12224 から抜粋)

地域の活性化を目指す 「農福連携」の取組

近年、農業分野と福祉分野が連携する「農福連携」の取組が全国各地で盛んになってきています。この取組は、障がいのある人の雇用や収入向上につながるだけでなく、農業分野の高齢化や人手不足といった課題の解決、さらには地域の活性化につながる事が期待されています。

今号では、農福連携を通じて地域課題の解決を目指す活動を続けている社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会の取組を紹介します。

福祉×農業の きつかけ

北九州市手をつなぐ育成会では、平成28年から農福連携に取り組んでいます。

取組のきっかけは、八幡西障害者地域活動センターの職員が、敷地内の空いた土地を活用し、日中活動の一環として、利用者と一緒に野菜づくりを始めたことでした。

職員と利用者が生き生きと活動する姿を見ていたセンター長（当時）が、『地域の中で支えられることの多い利用者が、農業を通して、支える側にもなるのではないかと考え、「これを法人全体で取り組もう」と考え、法人全体で取り組むことになりました。

実施に当たり、まずは農地を探していたところ、障害者福祉に理解のある方から、センター近くの土地を快く貸してもらうことができました。

農業の知識が全く無かったため、北九州市立総合農事センター（以下、農事センター）で研修を受けながら、見よう見まねで土を耕し、その土地に合う野菜を探していきました。40品目にも及ぶ作付けを試す中で、うまく収穫できない野菜もありましたが、収穫できた時はみんなで喜び合いました。

知識を蓄え、経験を重ねた結果、現在は、就労継続支援B型事業所の利用者を中心に、北九州市八幡西区の香月地域で玉ねぎ、なす、大根、白オクラなどの季節野菜を、自然の堆肥を使用して、無農薬で栽培しています。

また、令和3年度からは、上香月地区における玉ねぎの産地化を目指し、冬期に放置されていた農家が営む水田を借り、裏作として玉ねぎ栽培に取り組んでいます。

者が製造したドレッシングを、市内のショッピングモールや郵便局等で販売しています。

私たちが地域の 新たな担い手に

野菜の栽培をはじめていくうちに、段々と地域の方たちに認知されるようになり、近所の協力者の方がトラクター等の農機を貸してくれたり、耕作放棄地の再生に向けた取組や野菜などの育成に力を貸してくれるようになりました。

地域との関わりが深まる中、高齢化により農地を維持するために必要な水路の清掃が課題となっていたことから、地域農業資源の維持のため、毎年のように職員が水路清掃に積極的に参加するようになりました。

少しずつ地域に認知され、農業を営む方達と交流が増え、良い関係を結んでいくと、後継者探しに困っ



まさか、人材育成も

農事センターの研修を受けた職員は、卒業した後、も農事センターとの関係を切らすことなく、関係を深めていきました。関わりを続けているうちに、農事センターを管轄する産業経済局から声がかかり、「農福連携支援者向けの研修を考えたので一緒に検討して

もらえないか」との相談を受けました。そこで、障がいのある人の働く現状や市内の農業における課題などを話し合い、私たちのように農業と関わる福祉施設・事業所職員が増えていってほしいと考え、短期間でこんなにも教えてもらえるのかというくらい手厚いカリキュラムづくりに参加しています。

農福連携とは

農福連携とは『「農における課題」、福祉（障害者等）における課題』、双方の課題を解決しながら、双方に利益があるWin-Winの取組（一般社団法人日本農福連携協会HPより）です。障がい者が農業分野での活躍を通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組となるとともに、就業人口の減少や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながるものと期待されています。



「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会開催 ウォークラリー交流大会で優勝しました！」

新型コロナウイルス感染症の影響により、延期・中止されていた全国健康福祉祭（以下、「ねんりんピック」という。）が3年ぶりに11月12日（土）から15日（火）までの4日間、神奈川県で開催されました。

横浜アリーナ（横浜市）で行われた総合開会式では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各県・市選手団の代表者による入場行進が行われました。

交流大会では神奈川県内26市町で32種目の競技が行われ、日頃からスポーツや文化を通じて生きがいづくり、健康づくりを実践している全国の元気な高齢者約11,600名が各地で熱戦を繰り広げました。

福岡県からは、選手・本部役員を合わせて16種目に112名が派遣されました。

福岡県選手団は、ウォークラリーの全国優勝をはじめ、ソフトバレーボール並びにダンススポーツ（個人タンゴ、ワルツ）の準優勝、弓道並びにゴルフ



●福岡県選手団の主な成績

種目	チーム・個人	表彰項目	成績
ソフトテニス	Thymon	優秀賞	3位グループ
ゴルフ	穴井 達雄 氏	3位	個人戦
弓道	チーム福岡県	3位	
ソフトバレーボール	宮若桜龍	準優勝	第1グループ6組
ウォークラリー	博多美人	優勝	もくせいコース
ダンススポーツ	個人 堤 憲治郎・薫ベア	準優勝	ワルツ・タンゴ
	団体戦「オッシュヨイ」福岡	優秀賞	ベスト8

団体の個人戦（65歳〜69歳の部）3位など各種目において優秀賞に輝き、日頃の練習の成果を十分に発揮し、元気な福岡県をアピールすることができました。

選手団からは「コロナ禍で練習できない時期もあったが、息の合ったチームプレーを全国大会で披露することができた」「全国で活躍する選手と対戦できてとても刺激

になったし、開催地から熱烈な歓迎を受け、元気をもらった等、ねんりんピックを通して全国の選手と交流の輪を広げました。

スポーツや文化活動に60歳以上の方々が自ら躍動し歓喜することで「健康長寿」の素晴らしさを実感し、生涯を通じての健康づくりに取り組むきっかけとなることを期待されます。

農業の効果は無量大

農業を始めてから、さまざまな良い効果が見られるようになりました。

✓体全体を使い、丁寧な作業を続けることで、体力や集中力が目に見えて向上しています。

✓お互いに声を掛け、苦しい作業をカバーし合うことで、仲間意識が芽生え、利用者間のトラブルが減少しています。

✓野菜を購入してくれた地域の方の

「美味しかった」「また買いに来るね」という声掛けは、自己肯定感や働く意欲の向上につながっています。

✓長く農業に携わっている利用者は、一年間の作業スケジュールが徐々に分かってくるため、先の予定を見通しながら行動できるようになってきました。

✓地元の幼稚園と定期的に交流の機会を持ち、玉ねぎやスナップエンドウ等の定植から収穫までの農業



地域共生社会のきっかけに

体験を提供しています。利用者が子どもたちに作業を教える姿は、障害のある方が農業への取り組みに自信とやりがいをもっていると感じた瞬間でした。そうして収穫した野菜は、幼稚園の給食で使われる食材としても納品しています。

令和3年度から、販売戦略、農業生産、地区調整、運営の4チームを設け、定期的に農福連携会議を開催してきました。開始から7年目を迎えた現在、一定量の収穫が見込めるようになったことから、さまざまなルートで多くの方に無農薬自然栽培野菜を提供できる環境が整ってきました。

現在、福岡県でも「農福連携マルシェ」や農福連携による農産物のブランドینگ、福祉事業所と農家との意見交換会の開催など、農福連携の取組拡大に向けた事業を進めています。

全国的に農業分野の人手不足や耕地の増加等の課題をきっかけに、農福連携に対する行政や農家、福祉関係者の注目も集まっています。

社会福祉法人北九州市手をつなぐ育成会

昭和53年設立／利用者定員1,000名
現在、北九州市内に入所施設や地域活動センターなど27の施設・事業所を運営し、11事業の障害福祉サービスを提供。また、グループホームを39箇所開設。若年層から高齢層まで生涯に渡り安心して暮らせるサービスを提供し地域で普通に暮らせるインクルージョン（共生）社会を目指しています。

しかし、社会全体における認知度はまだまだ十分ではありません。また、障害者に支払われる工賃の向上の必要性や、彼らを支える人材の確保などの課題も、今後解決すべき課題として挙げられます。

日本の食を支える「農業」の課題解決に障害者の力が発揮され、「障害者が地域で役割をもって生きていく」という共生社会につながる農福連携のさらなる広がりが求められます。

⇒ 令和4年福岡県社会福祉大会を開催 ◀

去る10月26日(水)、クローバープラザで、令和4年福岡県社会福祉大会を開催しました。本大会では、県内の社会福祉協議会や社会福祉施設関係者、民生委員・児童委員など社会福祉関係者が一堂に会しウィズコロナ・ポストコロナ時代の地域福祉を展望し、誰もが安心して暮らせる元気な地域づくりに取り組んでいく契機として、記念講演、式典・総会を行いました。

記念講演(要旨)

「コロナ禍でみえてきた地域福祉のあり方について
〜ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けて〜」

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 小松 理佐子氏

これまで、社会福祉協議会や福祉関係団体、民生委員・児童委員、ボランティア等は、地域と連携しながら、人と人、人と地域の繋がりづくりを進め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指してきました。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により、人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められ、社会ではこれまで行ってきた様々な活動や取組を制限しなければならぬ状況が続きました。

また、コロナ禍における自粛生活が続いていくと、人との繋が



りが一層希薄化し、孤独や孤立、ひきこもり、虐待、貧困など様々な問題が顕在化し、長期化していきましました。

そこで、民生委員・児童委員をはじめ、全国各地の地域福祉活動の担い手は、今自分たちができることを考え、今までの繋がりが切れていかないように、健康体操のパンフレットを作成し、手紙を添えてポストイングしたり、電話やメール・ハガキ等による見守り活動や安否確認を兼ねた弁当の配布など、様々な方法で地域福祉活動を継続していきましました。

『ポストコロナに向けて』誰もが、いきいきと、安心して暮らし続けられる地域』を目指し、制度や分野、支え手や受け手という関係を超えて、地域住民みんなが元気に活動できるように、行政や専門職の役割は欠かせません。一方で、地域の中で「助けて」「困った」が言える関係や方法を再構築していくとともに、地域福祉活動を楽しむことが大事です。

福祉関係者が一堂に会し、式典・総会を開催

本大会には、県内各地から福祉施設・事業所や民生委員・児童委員などの福祉関係者約600人が参加されました。大会副会長である福岡県共同募金会の貫 正義会長は、「長引く新型コロナウイルスウィルス感染症の影響や、近年相次ぐ自然災害等により地域住民が抱える課題や支援ニーズも一層複雑化・複合化しています。本大会を、誰もが安心して暮らせる元気な地域づくりに向け、私たち社会福祉関係者の役割を改めて確認する契機として参りたい」と述べました。



式典では、永年にわたり社会福祉の向上に貢献された皆様を表彰しました。(詳しくは9頁に掲載)

また、総会では、県内社会福祉関係者の総意をもって、「大会宣言」「実践申合せ事項」

現在、我が国では、福祉人材の確保、養成、定着が喫緊の課題となつていいる。また、コロナ禍等により新しい生活様式への対応が求められ、人々の命と暮らしを守る役割を担う福祉分野の人材確保の必要性が一層顕在化した。その解決には、労働環境の整備、専門性を高める研修事業の充実等が急務であり、さらに福祉の仕事の意義や魅力を広く発信し、新たな人材発掘、養成及び定着に努める必要がある。

また、国は、急増する福祉ニーズに対応し、地域のセーフティネットとして社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生

特別アピール

委員、児童委員等が持つる力を最大限に発揮することを期待している。しかし、現状では、十分な財源措置がなされているとは言いがたく、感染症対策や物価高騰への対応など、今後、更なる財源の確保が図られなければならない。

国及び地方自治体においては、地域共生社会の実現に向け、社会福祉関係者の意見を十分に取り入れるとともに、国と地方における責任、財源の明確化を基本とした仕組みづくりを進めていただくよう、県内社会福祉関係者の総意をもって強く要望する。

大会宣言

我が国は、少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化等、社会構造の変化に伴い、地域生活課題が複雑化・複合化しています。こうした従来の課題への対応に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等による国民生活の急変により、緊急的支援も求められています。

国では、人々が様々な生活課題を抱えながらも住み慣れた地域で、自分らしく暮らし支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指しています。また、コロナ禍における経済的困窮や社会的孤立に対する生活困窮者支援を講じています。

しかし、その取組において多機関連携・協働を担う社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生委員・児童委員等、福祉分野の人材不足は深刻であり、その確保、養成、定着のための対策は喫緊の課題となっております。

加えて、近年、大規模な自然災害が各地で頻発して

実践申合せ事項

1 共に支え合う地域共生社会の実現
地域の様々な主体が参画し、地域の人や資源が分野・世代を超えてつながるよう、住民主体による課題解決力の強化並びに包括的な相談支援体制づくりを、地域住民との連携により実践し、共に支え合う地域共生社会の実現に努めよう。

2 生活困窮者支援の取組強化
コロナ禍による県民の経済的困窮や社会的孤立に対し、関係機関・団体の幅広い連携による生活困窮者支援に努めよう。

3 福祉人材の確保、養成、定着のための総合的な対策の強化
福祉分野における仕事の意義や重要性に対する社会全体の理解と、次世代を担う若年層に向けたイメージアップを図るとともに、働き方改革の推進をはじめ、処遇改善やキャリアアップの支援、福祉専門職としての社会的評価の向上に取り組むなど、働きやすく魅力ある職場づくりに努めよう。

4 社会福祉法人の地域における公益的な取組の強化
社会福祉法人は、極めて公益性の高い非営利法人として創設された経緯に鑑み、その責務として、様々な地域生活課題や福祉ニーズに

対し、自らの公益性を自覚の上、積極的に役割を果たしていきけるよう努めよう。

5 大規模災害への対応強化
相次ぐ大規模な自然災害に備え、日頃から地域住民、関係機関・団体と協働し地域の防災力の向上を図るとともに、福祉サービス利用者安心してサービスを受けられるよう支援体制の強化に努めよう。

6 福祉サービスの質の向上と利用者支援に向けた取組の強化
福祉サービスの質の向上と適切なサービス利用を支援するため、福祉サービス利用援助事業や苦情解決事業、第三者評価事業など、総合的な権利擁護体制の推進に努めよう。

7 共同募金運動の取組強化
民間の社会福祉活動を財源面から支援する共同募金運動の強化に取り組み、さらなる推進・拡大に努めよう。



春日市支会の取組 3年ぶりのイベントで共同募金運動をPR

共同募金会春日市支会では、共同募金運動をPRするため、10月16日(日)に開催された「いきいきフェスタ春日2022」で「共同募金コーナー」を設置し、募金の使いみちが掲載されたパネルの展示や風船付きチラシの配布を学生ボランティアも参加して行い、来場された方々への啓発活動を行いました。

【支会担当者より】

3年ぶりに学生ボランティアのパワーも借りて、子どもたちをはじめ、たくさんの地域の方々に共同募金をPRすることができました。また、ブースにパネルを展示したことで、共同募金の使いみちを知っていただく機会となり、募金を身近に感じていただけたと思います。



コロナ禍前の日常が少しずつ戻ってきており、今後も出来る限り色々な人々と協働して共同募金の広報啓発に頑張っていきたいと思っております。



春日東中学校ボランティア部の皆さんによる募金活動

「令和4年度ふくおか課題解決応援プロジェクト」(テーマ型募金)

「高齢化する地域の活気あるまちづくりを応援します」

募金期間 令和5年1月1日～3月31日



ふくおか課題解決プロジェクトとは

NPO法人やボランティア団体などが身の回りの地域や社会課題解決のために行う活動を住民の皆様丁寧に説明しながら、共感や賛同をいただける方から寄付を募り、その寄付金を共同募金会が団体に配分することにより課題解決につなげるものです。

実施団体 宝城つどいの家

小郡市の宝城北区は、昭和47年以降に宅地開発され、現在の高齢化率は50%を超えています。「空き家」や「売家」が目立つようになり、高齢者世帯においては、周りが気づかないまま認知機能の低下があったり、施設に入所されていたり、空き家状態になっているところも増えています。

このように高齢化した地域であっても誰もが地域の一員としてお互い支え合う仕組みを構築していくため、「宝城つどいの家」では、高齢者相互の学習会や困りごとの個別相談会等を行いながらそれぞれの生活ニーズを把握し、その課題解決を行っていきます。

福岡県共同募金会では、共同募金の一環として、同団体と一緒に上記期間、募金活動を行います。皆様の温かいご協力をお願いいたします。



【問い合わせ先】 福岡県共同募金会 ☎ 092-584-3388

共同募金運動の一環である「歳末たすけあい運動」には、市区町村の区域ごとに行う「地域歳末たすけあい」と県域で行う「NHK歳末たすけあい(県域)」の2種類があります。

「地域歳末たすけあい」は新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが孤立することなく安心して暮らすことができるように、地域住民の方々や民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの関係団体等が今年度実施する様々な福祉活動を資金面で支援するものです。その他、地域福祉サービス事業などにも使われます。

毎年、12月1日から31日までの1カ月間、「つながりさえあうみんなの地域づくり」をスローガンに本県をはじめ全国各地で取り組まれています。

また、「NHK歳末たすけあい(県域)」は、共同募金会とNHK等との共催で実施しています。



街頭募金の様子

本年度は、コロナ禍だからこそ、地域のつながりづくりの重要性を広く県民の皆様発信するとともに、減収や失業等による生活困窮や社会的孤立・孤独などの課題解決に向けた取組を支援してまいります。皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。



歳末たすけあい募金のつかいみち

地域では、「高齢者世帯に対する見守り・訪問活動」や「学童生徒が高齢者に年賀状を送る活動」、「クリスマス会などを通じた障害者共同作業所と地域の方々とのふれあい交流事業」、「防災事業」等の地域福祉活動に活用され、県域では、「児童福祉施設等の中学校・高等学校卒業生の進学・就職準備の支援」などに活用されています。

想いをつなぐ応援メッセージプロジェクト

～うきは市社会福祉協議会の取組～



うきは市社協では、昨年度、コロナ禍でも『人と人のつながり』がお互いを支え合い、元気づける源になることを再確認し、つながりの継続と新たにつなぐ機会をつくることを目的にメッセージカード作成を企画。趣旨に賛同した市民や企業、事業所、団体など多くの方が協力し、900枚以上のメッセージカードが寄せられました。それらのカードは、市内のひとり暮らしの高齢者に届けられ、人から人へカードを通して想いをつなぐ応援に活用されました。



歳末たすけあい運動推進中
つながりさえあう地域づくり



催し

ふくおか「きずな」
フェスティバルの
開催



日時 令和5年2月19日(日)
9時50分～15時00分

会場 クローバープラザ
(春日市原町3-1-7)

内容

- ・記念式典
- ・記念講演
『元気100歳への
挑戦～90歳医師の
「令和養生訓」～』



社会医療法人
原土井病院
理事長 原 寛 氏

- ・高齢者、障がい児者、防災・環境、子ども・子育て支援、男女共同参画の各分科会

- ・わくわく工作、手形足形アート、シャボン玉であそぼう、乳児親子のためのアイリッシュハーブ音楽会など親子で楽しめるイベント

- ※入場無料
- ※記念講演、各分会のみ要事前申込(1/20 ㊟まで)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期、中止する場合があります。

📍 地域・ボランティアセンター
TEL 092(584)3377

ホークスジュニア
アカデミー様からの寄贈

ホークスジュニアアカデミー様から、「ファイト!九州」の一環として、不要になったグローブを各地域の試合で回収し、新品同様にリペアを施し、福岡県内の児童福祉施設に寄贈いただきました。

誠にありがとうございました。



株式会社セブン-イレブン・
ジャパン様からの寄贈

株式会社セブン-イレブン・ジャパン様から、フードドライブの取組として、未使用食品等を寄贈いただきました。

この取組は、店舗閉店時の残商品の利用し、生活に困難を抱えた個人・世帯への支援や地域福祉の推進を図ることを目的とした社会貢献活動の一環として実施されたもので、寄贈品は、ふくおかライフレスキュー事業に役立てています。

誠にありがとうございました。

寄付・寄贈の御礼

福岡トヨペット(株)様
からの寄贈

今年度も、福岡トヨペット(株)様から福岡県内の社会福祉施設に車いす15台を寄贈いただきました。

この取組は、平成19年11月30日に同社が創業以来新車累計販売台数60万台を達成されたことを記念して始められたもので、社会貢献活動の一環として、毎年多数の車いすを寄贈いただいています。

誠にありがとうございました。

アフラック福岡総合
アソシエイツ会様からの
寄贈

アフラック福岡総合アソシエイツ会様から福岡県内の社会福祉施設に車いす6台を寄贈いただきました。

この取組は、令和3年9月に「アフラックのしっかり頼れる介護保険」の発売を機に、令和4年1月から6月の間、アフラック様と連動して企画され、販売件数に応じた配賦金をもとに社会貢献の一環として実施されたものです。

誠にありがとうございました。

永年にわたり社会福祉の向上に貢献された皆様を表彰いたしました。

表彰者一覧

福岡県知事表彰 民生委員・児童委員 33名 社会福祉事業団体関係者 8名 社会福祉事業施設従事者 66名 心身障がい者自立更生者 1名 ボランティア等功労者 9名、19団体		福岡県知事感謝 民生委員・児童委員 28名 社会福祉事業団体関係者 20名 社会福祉事業施設従事者 95名 ボランティア等功労者 28名、13団体	
福岡県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉事業特別功労者 163名 民生委員・児童委員特別功労者 34名 優良社会福祉事業施設 21施設 優良社会福祉協議会 4校区・1地区社協		福岡県社会福祉協議会会長感謝 社会福祉事業協働者 3名、22団体	
福岡県共同募金会会長表彰 会長表彰 個人29名、7団体 優秀地区 13市区町村支会		福岡県共同募金会会長感謝 会長感謝 個人44名 5団体	
赤い羽根キャッチフレーズ入選作品・特別賞 最優秀作品 1作品 優秀作 10作品 特別賞 25校			

【問い合わせ先】
総務課 TEL 092(584)3377/FAX 092(584)3369

福岡県社会福祉大会では、社会福祉功労者に対する表彰を行いました。
福岡県知事、福岡県社会福祉協議会会長、福岡県共同募金会会長、それぞれから表彰状・感謝状の授与及び赤い羽根キャッチフレーズの最優秀賞の表彰を行いました。受賞された皆様、誠にありがとうございました。今後ますますの御活躍・御健勝をお祈り申し上げます。



2023年度版社会福祉手帳の販売を開始しました

社会福祉関係法律の要点や各種相談窓口の連絡先など、福岡県の福祉の情報が満載の手帳が完成しました。福祉関係者必携です。

仕様

携帯に便利なポケットサイズ(縦14cm×横8.5cm×厚さ1.5cm)

主な掲載内容

- ・見開き月間スケジュール、週間スケジュール
- ・社会福祉関係法律の要点
- ・福岡県内の社会福祉施設、関係団体、各種相談窓口の連絡先など

申込方法

HP掲載の申込用紙に記入のうえ、郵送またはFAX、メールで下記あてお申し込みください。後日、現品納入の際に請求書・振込用紙を同封いたします。(メールで申し込む場合はタイトルに「手帳発注」と記載し、申込書を添付下さい)

申込み、問い合わせ先はこちら

総務企画部 総務課
〒816-0804 春日市原町3-1-7 クローバープラザ西棟6階
TEL: 092(584)3377 / FAX: 092(584)3369
Mail: soumu@fuku-shakyo.jp



定価

900円
(税込、送料別)

送料
1~2冊: 180円
3~6冊: 370円
7冊以上: 620円



お湯につかるだけで全身キレイに



こすらない、疲れない入浴
お風呂にホースを入れて電源ON
それだけで洗えるお湯に変わる

Brilliant Together
株式会社 金星 福岡営業所 無償デモ好評受付中
www.kinboshi-inc.co.jp (092)260-3508 cs_fukuoka@kinboshi-inc.co.jp

見て、触れて、試して



クローバープラザで福祉用具を約800点常設展示しています。使い方等のアドバイスや介護が必要な方々の日常生活に役立つ用具の紹介、相談も行っています。お気軽にご相談ください。

福岡県介護実習・普及センター
(春日市/クローバープラザ2階)

TEL 092-584-4316
【開館時間】
9:00～17:00
【休館日】月曜定休

